

先進事例 紹介

火災予防運動における「継続は力なり」

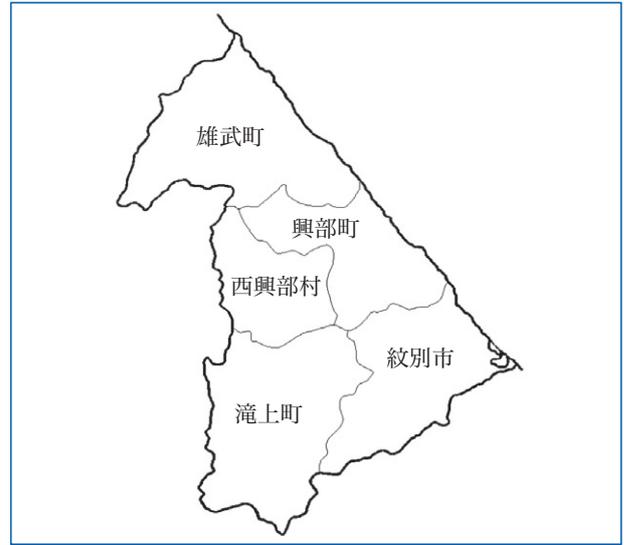
北海道 紋別地区消防組合消防本部

1 はじめに

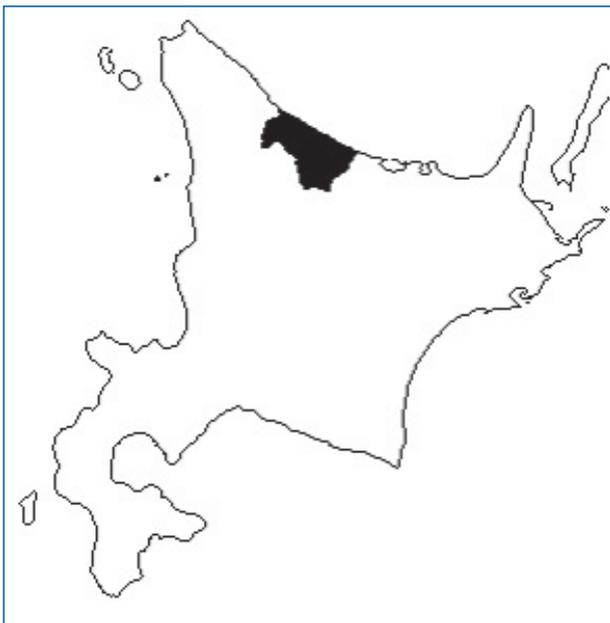
紋別地区消防組合消防本部は、北海道の道東オホーツク海沿岸のほぼ中央に位置し、紋別市、滝上町、興部町、西興部村及び雄武町の1市3町1村で構成されており、2,905.15 k m²の広大な管轄面積に暮らす、約3万5千人の住民の安全・安心を確保するため、1本部1署4支署、消防職員95名体制で消防業務に従事しています。

当地域はオホーツク海に面していることから漁業が盛んで、カニやホタテ、サンマやサケなど美味しい海の幸が捕れることでも知られておりますが、漁業ばかりでなく酪農も盛んで、地域で生産される品質の良い牛乳を原料としたチーズやアイスクリームなど、乳製品の製造・販売や肉用牛を生産している事業所もあります。

管轄区域（構成市町村）



位置図



2 防火PRから始まる火災予防

当消防本部では、春と秋の火災予防運動期間中に様々な広報活動や火災予防に関連した行事を実施しており、広報活動では、春・秋ともに紋別市内の大型店舗などに協力いただいて、レシートに火災予防運動の標語を印字してもらい、火災予防のPRを実施しているほか、関連行事としては、春の火災予防運動期間中、市民を対象に火災予防の啓蒙思想の普及と消防業務に対する関心と理解を高めてもらうことを目的に「消防クイズ」を実施しており、市内公共施設等に火災や救急に関する問題を掲示し、消防後援会の協賛により正解者の中から抽選で賞品を贈呈しています。

また、秋の火災予防運動期間中には、小学生から一般の方を対象にした「防火玉入れ大会」を開催しております。大会では玉入れ競技のほかに消防に関連したクイズを出題し、玉入れの得点数とクイズの正解数により勝敗を決めており、毎年100人を超える市民が参加しております。

3 結婚披露宴から広がる火災予防

さらに、春と秋の火災予防運動期間中に結婚式を挙げるカップルのうち、消火器贈呈の趣旨に賛同され、結婚披露宴での贈呈を承諾していただいたカップルの中から抽選で2組に「消防署からのメッセージ」を添え、披露宴会場に職員が出向して消火器をお贈りしています。

北海道の結婚披露宴は他都府県と異なり、その多くが会費制という形式で行われており、最近では披露宴の規模も小さくなる傾向にあり、披露宴そのものを行わないカップルも増えてきましたが、十数年前までは親族や本人の同僚、友人のみならず、両親の職場関係者、更には御近所の方々など、紋別市でも出席者が300名を超える規模の披露宴も珍しくありませんでした。

そこで、多くの市民が集まる結婚披露宴の場をお借りして消火器を贈呈することで、「より効果的な火災予防の広報になるのではないか」との当時の予防担当者のアイデアで、昭和50年に始まってから今年で43年目を迎えたところであり、これまでに145組の新婚カップルに消火器を贈呈しております。



新婚カップルへの消火器贈呈

新婚カップルが新たに家庭を築くときには必要になるものが沢山あり、防火・防災意識の高い方でもなかなか消火器を備えるまでには至らないかもしれません。今後もしも幸せな笑顔が溢れる結婚披露宴の席で消火器を贈呈することにより、参加された多くの方々に火災予防の重要性を訴え続けていきたいと思っております。

本日はご結婚おめでとうございます。

4月20日から4月30日まで、全道一斉に春の火災予防運動が行われていますが、紋別地区消防組合消防署では、この期間中に結婚されるカップルのなかから抽選により、消火器をプレゼントしております。

今回は幸運にも、〇〇〇〇さんと〇〇〇〇さんのカップルが当選されましたので、この席をお借りして消火器をお贈りいたします。

皆様もご存じのとおり、消火器は火を消すためのものです。

お二人の愛の炎が燃え上がっても、使用することは出来ませんので、使用上の注意をよく読んでからお使い下さい。

お二人の前途が幸せで満ち溢れることを願ひまして、消防署からのメッセージとさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

消防署からのメッセージ

4 おわりに

結婚披露宴での消火器贈呈を40年以上の長きにわたり続けてきたことにより、今では、春・秋の火災予防運動期間中の防火PRのひとつとして、市民の誰もが知る場所でもあります。

「継続は力なり」という言葉があるように、我々自身も続けることの重要性を改めて認識し、地域住民が少しでも火災予防に興味・関心を抱くよう、これからも広報活動や関連行事を展開し、火災の根絶を目指してまいります。